

## 2026年12月期 第1四半期 決算説明会等における主な質疑応答

---

### 【質問】説明会資料 P5「原料価格の感応度」について

#### ・原料価格の上昇にはどのように対応するのか。

2026年5月8日公表「現下の中東情勢が当社の事業及び業績に与える影響について」のとおり、中東情勢の影響により、足元では一部原材料価格の上昇が見られるものの、当四半期における当社の事業運営および業績は安定的に推移しており、現時点で重要な影響は生じておりません。

しかし、原材料価格およびエネルギーコスト等の変動が継続している状況を踏まえ、2026年6月から、施工単価および各種販売単価について数十%程度の引き上げを実施予定です。

### 【質問】説明会資料 P7「日本アクアの安定供給を支える3つの強み」について

#### ・各社が原料不足に陥る中で、なぜ当社は安定供給ができるのか。その継続性も教えてほしい。

資料に記載した3つの強みの中でも、海外の複数サプライヤーと直接取引をしており、多様な調達ルートを確認できている点が、他社との大きな差別化要因であると認識しております。

また、現状では当社に対する供給制限はなく、継続的な調達が可能であると考えております。

#### ・在庫量やその管理体制はどうなっているのか。

全国26か所に備蓄拠点を設けており、数か月分の原料を確保しております。

また、当社は自らウレタン原料の製造を行っていることから、在庫状況を正確に把握しており、ビルダーやゼネコンに対して正確な施工スケジュールの提示が可能です。

### 【質問】説明会資料 P9「供給制約を成長機会に転換」について

#### ・どのような成長機会があるのか詳しく教えてほしい。

主に以下の3点であり、いずれも足元で増加しております。

- ① ウレタン原料不足により施工ができなくなった他社から、当社への切り替え
- ② 供給不足が深刻なボード断熱材から、現場発泡ウレタンへの仕様変更
- ③ 施工人員は充足しているものの、原料が不足している施工現場に対する原料販売

### 【質問】説明会資料 P15「経常利益」、P16「施工力の推移」について

#### ・販売費及び一般管理費の上昇要因は人件費及び実習生関連費のようだが、今後も年間100名規模の施工体制の増強を継続するのか。

今後の需要増を見据え、採用を継続します。また、工務社員のスキル向上や幹部登用をこれまで以上に進めることで、モチベーション向上と成長促進を図ってまいります。同時に、受注管理の高度化や工程の最適化による稼働率の向上を進め、生産性の改善を通じて収益力の強化にも取り組んでまいります。

**【質問】説明会資料 P18「重点施策の展望」について****・2027年からGX ZEHの適用が始まるとどうということが期待できるのか。**

2027年からGX ZEH（断熱等級6相当）の普及が本格化することで、断熱性能への関心はさらに高まると考えております。国や自治体による補助金・優遇制度の拡充や、各種メディアでの露出増加も期待される中、当社にとっては施工単価上昇や高付加価値提案の拡大につながる機会と捉えております。

実際に、ZEH（断熱等級5）が普及した2022年度には、新築住宅に占める等級5の割合が約47%まで拡大しており、GX ZEHについても同様に市場浸透が進む可能性があると考えております。

**【質問】説明会資料 P19「戸建部門」について****・施工棟数、施工単価ともに前年を上回った要因は何か。**

断熱性能を含む住宅性能で差別化を図り、市場シェアを拡大している広域展開ビルダーや大手ビルダーからの受注が引き続き増加しております。

また、2027年4月のGX ZEH適用開始に向けて断熱等級6以上の住宅需要が高まる中、他の断熱材と比較して、現場発泡ウレタン断熱材の優位性がより発揮される環境となったことが、施工単価上昇の要因の一つとなっております（当社全施工に占める断熱等級6の割合：2025年約15%⇒2026年約25%を予想）。

さらに、住宅全体の性能向上に対する意識の高まりを背景に、気密測定サービスの採用も拡大しており、業績に寄与しております（同割合：2025年24%⇒2026年40%を予想）。

**【質問】説明会資料 P21「建築物部門」について****・計画を上振れた要因として挙げられている「追加工事」とは具体的に何を指すのか。継続性はあるか。**

追加工事とは、想定外に発生した隙間への補修充填や仕様変更への対応などを指しています。当社では、2024年に建築工事管理部を新設し、施工現場で追加工事の提案・対応を行う専任者として取り組みをしております。

また、追加工事は基本的にどの施工現場でも発生しうるため、継続的に受注できるよう努めてまいります。

以上

---

**【お問い合わせ先】**

株式会社日本アクア 管理本部 経営企画部 小室 昌彦

電話番号：03-5463-1117

Eメール：m.komuro@n-aqua.com